

2月

〈平成25年〉2月17日(日)

10:00~16:30 天満橋学会(実習コース)

対象:歯科医師のみ

4コース

バイオタイプを考慮した 歯周治療・インプラント治療



伊藤 雄策

大阪市開業

略歴

東京歯科大学卒

1975年 国際デンタルアカデミー診療部長歴任

故東北歯科大学学長Dr.保母須巴也に師事

1980年 神戸伊藤歯科医院勤務

故U.S.C総合診療科Dr.レイモンド・キムに

師事

1994年 新大阪に伊藤歯科医院開設

日本顎咬合学会指導医

SJCDインターナショナル常任理事

O.S.I大阪主幹

日本補綴学会会員

日本臨床歯周病学会会員

日本インプラント学会会員

A.O会員

日本再生医療学会会員

研修費：歯科医師(本学卒) 22,000円、歯科医師(他大学卒) 27,000円
(実習材料費・弁当代含む)

「今日の歯科臨床は、インプラント治療の時代である」と言っても過言ではなくなっている。その経済的な面ばかりを追求する故の悪影響か、歯周治療よりも拔牙を簡単に選択する傾向にあるのが現実である。

天然歯は一度失うと、もう元には戻せない。インプラントがあるからと、考えるのは軽率であり、天然歯の持つ機能もさることながらその免疫機構等は、インプラントには持ち合わせていないわけである。

本講演では、天然歯を長期的に安定して維持するための歯周組織がどうあるべきなのかを今一度考察し、さらにそこから学ぶインプラント周囲組織がどうあるべきかを考え、臨床から得たエビデンスをもとに、我々開業医で行えMinor G.B.R.とSoft tissue Managementの外科的手技を、デモ・実習を交え、皆様と共に勉強したいと思います。

本コースでは、特注の模型を使い、より臨床的な実習を行いたいと思います。

どうぞ、先生方で使用している、歯周外科器具をご持参の上、ご参加ください。